

穴水のポリテクカレッジ石川

「ガソリン1リットルで2000キロ」

穴水町の石川職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ石川）の学生チームは21日、輪島市の輪島総合自動車学校で、卒業制作の超低燃費自動車を試走した。10月に3年ぶりに開催される全国大会では「ガソリン1㍑で2千キロ走行」を達成して優勝するのが目標で、4月から製作に取り組んでいる新車と改良車の2台でレースに臨む。

超低燃費車を試走

チームが出場する第41回Hondaエコマイルレッジチャレンジ全国大会は自動車大手ホンダが主催し、10月1、2日に栃木県茂木町のレース場で開催される。規定時間内にコースを7周（約16㌔）して消費したガソリンの量を計測、1㍑当たりの走行距離を競う。

新車はこれまでの車両に比べてタイヤを太くして転がりやすくしたことに加え、タイヤとエンジンの駆動を切り離して空気抵抗を減らす「ドグクラッチ」を採用した。空気抵抗を少なくして軽量化を図るため、改良車のボディーにはカーボン繊維を使用した。

21日のテスト走行は1周3

生産技術科の2年生6人で構成するチームは、地元の精密金属加工業「タキノ工業所」や能美市のワイエルムポリマックスの協力を得て、新車製作やOBが昨年作った車両の改良に取り組んできた。

10周のコースで行われ、新車は1㍑当たり709㌔、改良車は同553㌔の走行距離を計測した。

全国大会は4度目の挑戦で、これまでの最高順位は2018年に1位で501㌔走行した16位。同校によると、

ポリテクチームが出場する大学・短大・高専・専門クラスの優勝記録は例年2千キロ前後となる。昨年のチームが製作した車両を校内で走らせた結果を基にした評価では、大会で6位相当の1㍑当たり1500㌔程度の走行を見込める

という。
チームはさらに車両の改良を重ね、9月にも試走を行う予定だ。リーダーでドライバーの中村亮太さん（20）は「部品一つ一つの精度が勝利の決め手となる。優勝と完走を狙いたい」と意気込んだ。

3年ぶり全国大会へ目標新た



低燃費車のテスト走行に臨む学生
＝輪島市横地町の輪島総合自動車学校